

令和3年11月16日  
【防衛省】

## 【概要書】

海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する  
法律に基づく海賊対処行動について

の報告書が提出されました。

連絡先は省略。

## 海賊対処行動に関する新たな対処要項について（概要）

### 1. 趣旨

ソマリア沖・アデン湾における自衛隊の海賊対処行動については、現行の対処要項による海賊対処行動を命ずる期間が本年11月19日までとされているところ、同日以降も海賊対処行動を継続するため、新たな対処要項を作成する。

### 2. 海賊対処行動の必要性

ソマリア沖・アデン湾における海賊事案の発生件数については、自衛隊が活動を開始した平成21年から23年当時には年間200件以上発生していたが、自衛隊を含む各国部隊による海賊対処活動や民間船舶の自衛措置といった国際社会の継続的な取組により、現在は、低い水準で推移している。他方、海賊を生み出す根本的な原因であるソマリア国内の貧困等は未だ解決しておらず、海賊行為に対処しなければならない状況には依然として変化が見られない。各国部隊も活動を継続しており、我が国としても、極めて重要な海上交通路であるソマリア沖・アデン湾における航行の安全確保に万全を期し、国際協調主義に基づく積極的平和主義の下、国際社会の平和と安定に引き続き貢献していくことが重要である。

これらの状況を踏まえれば、自衛隊がソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動を継続することは、本年11月20日以降も必要である。

### 3. 現行の対処要項からの変更点

#### (1) 海賊対処行動の必要性

変更なし

#### (2) 海賊対処行動を行う海上の区域

変更なし

#### (3) 海賊対処行動を命ずる自衛隊の部隊の規模及び構成並びに装備並びに期間 ア「規模及び構成」

新型コロナウイルスの感染拡大以降、ジブチ側との出入国に関する調整や、ジブチの拠点内の感染対策など新型コロナウイルスに関連した業務が生起するなど、部内外との調整業務の負担が増大していることから、ジブチの拠点で活動する派遣海賊対処行動支援隊の人員数を増員する。このため、「ア及びイに規定する部隊が海賊行為への対処を行うために必要な業務を行うための部隊」の人員数の規定を「(人員約120名。ただし、部隊の交替を行う場合は約230名)」から「(人員約120名。ただし、部隊の交替を行う場合は約240名)」に改める。

#### イ「装備」

変更なし

#### ウ「期間」

上記2に示したとおり、当面の間、自衛隊による海賊対処行動を継続しなけ

ればならないことが見込まれるため、命ずる期間を「令和3年6月10日から同年11月19日までの間」から「令和3年11月20日から令和4年11月19日までの間」とする。

- (4) **その他海賊対処行動に関する重要事項**  
変更なし